

めじろむつみクラブ (MMC) 会報

[第13号] 2008年(平成20年)12月25日発行

特定非営利活動法人(NPO)
めじろむつみクラブ(MMC)事務局
住所: 八王子市めじろ台2-37-12
tel: 080-1038-6875
http://www.hachioji

年の瀬も迫り何かと気ぜわしい頃となりましたが、会員皆様にはお変わりありませんか。
MMCの活動状況・イベント特集号をお届けします。

1. MMC・オータムコンサートを開催

10月12日(日)めじろ台第一会館で、午後2時から1時間半、フリーランスのクラリネット奏者で集ったクラリネットアンサンブル「LEBEN」(レーベン)の4人(女性3人、男性1人)とパーカッション奏者・阿部拓也さんを加えての演奏会を開催しました。入場料:500円(ワンコイン)。

曲目は、クラシックの小品のほか

- * 「上を向いて歩こう」など日本のポップス
- * トロンボーン奏者でもあったジャズ・ミュージシャン・グレンミラーの作品「ムーンライト・セレナーデ」などのメドレー
- * クラリネット奏者でもあるベニーグッドマンの「シング・シング・シング」などの作品

加えて、「千の風になって」、日本の心・唱歌のメドレー等、多彩な曲目をとりまぜ、20余曲の演奏となりました。

アンサンブル「LEBEN」は、ドイツ語で「心」。心に響く演奏をつねに心がけているとのこと。その一環として、演奏会では、日本の心・唱歌を採り上げることが多いと聞いていますが、今回も演奏にあわせて会場の人たちが唱歌を合唱するという場面もありました。

会場には、出演した演奏家の指導を受けている生徒さんたちも何人か駆けつけ、老若男女、生演奏を満喫、「生の演奏は素晴らしい、感動した」「来年が楽しみ」と言った声も多く聞こえ、MMCの初めての試みであるコンサートは成功裡に終わったと言えます。

(講座開催事業担当)



2. 第四回趣味の作品展を開催

めじろ台秋の風物詩「MMC趣味の作品展」は、今回も多くの皆様から貴重な作品を出展戴き、感動と讚美の2日間になりました。

作品を食い入るように見つめレベルの高さに感嘆する人、久しぶりに出逢い 話の弾む人、多くの交流の輪ができました。主催者MMCの趣意である文化交流の場そのものでした。また、来年の出展希望者や出展品を譲って欲しいとの申し出等々、内容の充実した作品展を開くことここに改めてご協力とご支援・ご協力を戴いた皆様方に心から厚く御礼。また、反省点をふまえ来年は益々内容の充実を図ってまいります。

☆ 概要と結果

- ・開催日時 : 11月22日(土) 午前9時~午後5時
11月23日(日) 午前9時~午後3時
- ・会場 : めじろ台第1会館
- ・展示品 : 絵画、書、写真、俳句、絵手紙、造形粘土、押し絵、ちぎり絵、人形、木彫り、手芸品、生け花、刺しゅう、木工、ひょうたん飾りなど
- ・出展者 : 69名、 展示品数 : 92点、 来場者 : 297人



(地域交流事業担当)

3. 「2008めじろ寄席」好評裡に終る

日時：平成20年12月14日（日） 13時30分～15時

場所：めじろ台第1会館

出演者：中央大学落語研究会メンバー ステファンオタコーラさん
もみ家茶も美さん
ふられ亭尼庇留さん

入場料：300円



昨年好評だった法政大学・落語研究会（3人）による「2007めじろ寄席」に続き、今年は中央大学の落研メンバー3人を招いての公演。今回の、もみ家茶も美さんは、紅一点・文学部1年生の女性噺家さん。

①「たらちね」（ステファンオタコーラさん）

ご存知のネタ。店子の大工・八五郎に突然大家からの縁談話。若くて京美人、お金もある相手。難点はただ一つ、度を越す丁寧な話し方。話しはトントンと進み、一緒になり新婚生活が始まる。長くてわかりにくい新婦の会話に、物売りもたじたじ・・・笑いは広がる。

②「権助魚」（もみ家茶も美さん）

旦那はどうもお妾さんがいるようだ。どんな人か、オカミさんはいつも旦那のお供をする権助を使って情報収集に乗り出す。駄賃は1円。一方、旦那と言えば、妙にカミさんが権助のお供に拘ることにおかしいと思い、権助に白状させる。駄賃を2円やって、両国で友人に会い、柳橋で遊んで、網取りで魚を捕って、きょうは帰らないと言わせる。権助は、駄賃として更に魚代1円貰い、帰りに魚屋で、網取り魚を買って帰る。オカミさんに買って帰った「イワシ」「たこ」「蒲鉾」等を網取り魚と称して説明するが、旦那が出てから、権助が帰ってくるまで25分。ウソがばれる。

③「片棒」（ふられ亭尼庇留さん）

町内一の金持ちでありながらケチの固まり「赤西家ケチ兵衛」。自分の跡継ぎを決めるためムスコ3人を呼ぶ。自分が死んだらどのような弔いを出すか。長男は、ど派手にやると披露。次男・銀次郎も長男と似たような流儀。山車、囃子、神輿なども出し、最後は花火も上げると言う。三男・鉄三郎は、兄2人とは全く逆で、弔いは簡単に、全てをケチる形です。お棺を担ぐのも自分が片方と言う。途端に、親爺さんが、「残った片棒は、おとつあんが担ぐ」・・・。

3題が終って、大喜利。まずは、やりくり川柳。司会は、ふられ亭尼庇留さん、出演した2人が5、7、5の最後の5文字を紙に大きく書き、会場から最初の5文字を頂戴、中の7字を入れて完成させるもの。最後は、「こんな〇〇は嫌だなコーナー」。会場からお題・忘年会などを受けて上手にまとめて会場は拍手喝采。とても寒く雨模様の日ではありましたが、50名を越す来場者は、おなかを抱えてのひとときでした。

（講座開催事業担当）

4. 新会員の紹介

8月26日以降12月20日までの新会員は、高橋房子、古川敦子、西 正子、石河喜郎、田中鈴子、肥後正夫、清家夏子、江嶋惣太さんの8名です。

会員総数は転居者や退会者があつたため総数は121名です。

5. 事務局便り

- ・生活支援活動状況は、12月20日現在72件、有償地域交流事業を合わせると86件で、20年度計画の98%を消化しております。
- ・11月3日、八王子市民活動協議会主催の交流会に高橋理事長、北澤事務局員が参加し、MMCのPRと交流を図りました。
- ・市内で発行されている「古今人」10月号の【ココんとか知っ得！】欄に、MMCの活動内容が掲載されました。
- ・11月末に八王子市の平成21年度市民企画事業補助金申請と、自治研究センターの21年度補助金募集に応募しました。